

公表日 2026年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 三郷駅前教室教室

保護者等数(児童数) 24名 回収数 22件(割合92%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	2		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			5	子どもから、人手が足りていないと感じるような不満や話は聞いていないので、適切であろうと思っています。	現在職員は充足しておりますが、安定して適切な配置が継続できる様、採用は積極的に行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				玄関・教室綺麗にされている。 トイレの中は見た事がない為わからない	施設全体、毎日の清掃を徹底していますので、今後も継続して心地よく過ごして頂けるよう心がけます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				先生が子供にひとり付きっきりで支援頂いている様子を写真で見て、感謝しています。	特性に応じて、担当をつけておりますので、今後も継続して心地よく過ごしてもらえていると思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			2	定期面談で、計画に対しての状況報告をしてくれるので、沿っていると思います。	定期的に、支援計画に対する支援状況児童の様子についてのミーティングを教室で行っており、継続します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	4	3	先生間のコミュニケーションはある様だが、児童を交えた交流はまだ無いと思います。	他のこどもとの交流機会は現在予定出来ておりませんが、同系の教室との交流から実現して行く考えです。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19		1	2	三郷市で開かれたペアレントトレーニングを案内頂き、参加しました。とても勉強になりました。	今後もセミナー等の情報に関して保護者様へも展開していき、多くの方にご参加いただける様取り組みます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			2	送迎時に顔を合わせる先生ともコミュニケーションが取れ、相談できています。	今後も連絡帳のみに頼らず、直接のコミュニケーションを重視して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				家庭の都合に合わせて送迎時間を調整してもらえて助かっている。	今後も可能な限りご要望にお応えできるように努力いたします。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	9	10	きょうだい共に使用しているので交流機会はあるが、保護者会が開催されるのであれば興味があります。	保護者の方々の交流機会についてはご用意ができておりませんでした。学校休日や祝日を活用したイベントの開催を検討したいと思います。
保護者	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2			希望を伝えると対応してくれるが、忙しい所が引けるので教室側から発信があると嬉しい。	教室側からの発信不足は課題です。運動会や事業参観などの行事に合わせて面談・相談の希望お伺いをこちらから行うように致します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1			連絡帳以外にSNSでの連絡が取れるので助かっている。	

看 へ の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22				いつも豊富に写真で報告頂き、喜んで います。	様子の写真送付は大変ご好評を 頂いておりますので、今後もより 力を入れていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			3		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知 ・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されて いますか。	15	2		5	利用開始時に説明があったと思うが、 よく覚えていない。訓練は行っている のを連絡帳で報告を受けました。	ご契約時だけでなく、改定時などにも 周知していただけるよう発信して参り ます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。	22					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知され る等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思 いますか。	15	3		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	20	1		1	公園での小さなケガも状況報告があった。	お伝えした状況から、以後はどの様に 未然に防ぐかを職員一同で会議してい ており、今後も継続します。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	2			車に乗り込むときに、泣くことがある ので、まだ少し慣れていないのかなと 思う時がある。	保護者様との別れ際、少し不安がのこる 状態であった場合は特に、様子をこまめ に写真などでお伝えするよう心がけます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22				毎朝きょうはこばん行くの？と楽しそう に質問してくるので、そう思います。	楽しみにしてくれているのが何よりです。 今後も楽しんで通所してもらえる様励みま す。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				いつもありがとうございます。	ご満足いただけ幸いです。 今後も引き続き努力します。

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすくら 三郷駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		活動部屋を2部屋有している為、人数や活動内容に応じて使い分け分散ができています。	現在の規模においての課題は無いものと考えております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		職員：児童＝2：1の割合で配置を行っている。	今後も安定した人員の充足の為、現在も採用活動中です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12			今後2歳児童の利用増などが予定されているため、就寝用具などの補充を早急の課題として対応中です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		清掃・植物配置を継続し、清潔に整えています。2室を「静」「動」使い分けを行い、落ち着いて過ごしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	活動部屋・静養室いずれかを活用し、児童の状態に合わせて過ごせる様配慮しています。	静養室に時折プログラムで使用する備品がおかれていることがあるため、本来用途を実現できるよう徹底します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		定期面談のほかに、全職員対象とした任意の「気づいたことノート」で広い意見を募っています。	様々な意見が吸いあがってきており、今後も継続し、業務への反映ができる様に致します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		12	現在実施できていません。	今後実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	8	各種研修の案内は行い、本年度は教室の費用負担による資格取得を推奨し、3件の取得事例ができました。	継続して推進します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		定期モニタリング面談に対し、事前に職員間のミーティングも行ったうえで臨んでいます。	職員の児童理解を深める機会にもっており、今後も継続いたします。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	2	定期モニタリング面談に対し、事前に職員間のミーティングも行ったうえで臨んでいます。	職員の児童理解を深める機会にもっており、今後も継続いたします。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	活動計画はリーダーが事前に作成し報告して検証しています。	検証する人員が固定化されないよう仕組化していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		プログラム策定後、教室内で検証しています。	継続いたします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3	朝礼により実施できています。	今後も実施します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	9	3	夕礼により実施できています。当日不在の職員への伝達は引継ぎ帳により行えています。	継続いたします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		記録表のほかに、全職員対象とした任意の「気づいたことノート」で広い意見を募っています。	様々な意見が吸いあがってきており、今後も継続し、業務への反映ができる様に致します。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	4	昨年度初めて未就学児の進学を経たため、当時はあまりできておりませんでした。	既存児童の通っている小学校への進学する児童も次年度出てきますので、より密に情報共有を図ろうと動いています。
	28	（28～30は、センターのみ回答）				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答）	10	2	新規利用者の見学時には支援センターのご担当者様も同席頂き、助言を頂く機会となっております。	引き続き同席の依頼を行い、相互理解を深めます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		1 2	現在児童間の交流は図れていません。	他のこどもとの交流機会は現在予定出来ておりませんが、同系の教室との交流から実現して行く考えです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12		写真を用いた報告と、送迎時の直接対話を重視し、コミュニケーションを図っています。	特に写真提供は好評をいただいているため今後も豊富な写真で活動の様子についてご理解を頂きたいと思います。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		取得した研修等情報は保護者様へ展開しています。児童の特性に合わせ、特定の研修の推奨なども行っています。	継続します。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時に代表者より行う様にしています。	代表者以外も説明できるよう訓練します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		モニタリング・アセスメントで必ず確認をしています。ツールとして使用するシートに予め項目で盛り込んでいます。	継続利用します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		全件できています。言語の壁がある利用者様へも翻訳を活用してご説明しています。	継続します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		要望へはしっかりと応じられています。	教室側からの発信不足は課題です。行事に合わせて面談・相談の希望お伺いをこちらから行うように致します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		12	出来ていません。	保護者の方々の交流機会についてはご用意ができておりませんでした。学校休日や祝日を活用したイベントの開催を検討したいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		申し入れには応じられています。	教室側からの発信不足は課題です。行事に合わせて面談・相談の希望お伺いをこちらから行うように致します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		SNSを用いて日ごろの様子をお伝えできています。	ご好評いただいている写真提供は今後も力を入れていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	2		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1 2	出来ておりません。	児童交流と併せ、今後の課題となります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2	訓練は実施できています。	保護者参加などのイベント化が次の目標となります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		訓練は実施できています。	保護者参加などのイベント化が次の目標となります。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		アセスメントにより確認ができています。	継続します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		確認の上利用開始しております。 現在該当児童はありません。	対象児童に対してはしっかりと対応致します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2	行えています。	継続します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		行えています。特に公園遊びの際のヒヤリハットに力を入れています。	繰り返し反復して定着を心がけます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		研修参加できています。参加報告書を基に理解度の計測を行っています。	継続します。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12		行えています。	継続します。